

西っ子の「国語」・「算数」の力と学習や生活の様子

～『R6 全国学力・学習状況調査（2024年4月実施）』の結果から～

◎は良いところ、▲は伸ばしたいところ

★国語について★

①学習指導要領の内容における結果から

・思考力・判断力・表現力等における「話すこと・聞くこと」の領域で力がついています。特に、目的や意図に応じて集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する力がついています。

②特に正答率の高かった問題

◎オンラインで交流する場面における、話し方の工夫として適切なものを選択する問題において、話し言葉と書き言葉の違いに気付き、メモを使って説明するために情報を整理する力がついています。プレゼンテーションを取り入れた発表やオンラインでの交流活動に取り組んでいる成果が表れています。

③課題として

▲文章を読んで内容を捉えることに関する事項に課題が見られます。特に、人物像を具体的に想像したり、筆者の表現の効果について考えたりする問題に誤答が多く見られました。

→今後は、登場人物の行動や会話、様子などから人物像を想像し、それぞれに捉えた話の全体像について他の児童と交流し、深める活動を積極的に取り入れていきます。

★算数について★

①学習指導要領の領域における結果から

・「図形」の領域で力がついています。特に、見取り図や展開図について理解し、立体の辺の位置や側面の長さを考える問題の正答率が高く、図形の意味や性質の理解について基礎的な力が身についています。

②特に正答率の高かった問題

◎円柱の側面の長方形の横の長さを求める問題において、直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について学んだ知識を使って、正しい展開図を選ぶことができていました。

③課題として

▲「データの活用」の領域において、折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述することに課題が見られました。

→今後は、算数だけでなく社会や理科など他教科でも、グラフなどのデータを活用する場面で、数値の意味を読み取る力をつけ、活用することを意識した活動を積極的に取り入れていきます。

学習や生活について

◇よい傾向 ◆心配な傾向

①《家庭や地域に関すること》

◇携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている児童の割合が高いです。

◇地域や社会を良くするために何かしてみたいと考える児童が多いです。

◆寝る時間や起きる時間など、規則正しい生活を送ることができている児童の割合がやや低めです。

②《学校に関すること》

◇授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりしている児童が多いです。

◇分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考えて工夫する児童が多いです。

◆各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめることができたと感じている児童の割合がやや低いです。

③《自分自身に関すること》

◇将来の夢や目標を持っている児童や、人の役に立つ人間になりたいと考えている児童が多いです。

◇人が困っているときは進んで助け、友達と協力しながら課題解決をしている児童が多いです。

◆新聞を読んでいる児童の割合が低めです。

★西っ子の保護者のみなさまへ★

地域に関心を持ち、地域や社会を良くするために何かしてみたいと考え、人の役に立つ人間になりたいと考える、利他の心あふれる西っ子です。課題解決に向けて自分から進んで取り組んでいる児童ほど、得点率が高い傾向が見られます。授業で学んだことを生かして、予習・復習等の自主学習を行ったり、新聞や本を読んだりして、さらに学びを深められるといいですね。また、家庭でゲームや動画視聴などの時間が短い児童ほど、得点率が高い傾向が見られます。PCやタブレットなどのICT機器の使い方を含め、規則正しい生活を送ることについて話し合ってみてください。